

音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

※具体的な施策、事業については、人口減少対策に係るものであり、かつ国の新型交付金を想定した中で選定します。

人口ビジョン

■人口の現状分析

- ・2010年12月をピークにほぼ横ばいが続く現状（出生数の減少、死亡数の増加、社会増の減少）
- ・人口の変化が地域の将来に与える影響
 - ①少子化の加速
 - ②社会保障費などの増加
 - ③公共施設の維持管理費等の増加
 - ④コミュニティ機能の低下
 - ⑤商業環境や医療環境の悪化
 - ⑥労働力の減少による工場や事業所などの撤退

■目指すべき人口減少対策の方向

- ・3つの基本的方向
 - ①音更で生涯を送ることができる条件整備
 - ②音更で生まれ育った人が町に戻り、子どもを産み育てたくなるような環境づくり
 - ③音更生まれでない人が音更に行ってみたい、住んでみたいと思うきっかけづくり

■人口の将来展望

- ・国の長期ビジョン期間（2060年）を基本とした、総人口や年齢3区分などの将来推計の提示
 - ①国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を基本
 - ②合計特殊出生率に目標値を加味（2030年→1.80、2040年→2.07）
 - ③2060年において社人研推計を約4,200人上回る



総合戦略

（国の基本目標）	（本町の基本目標）	（具体的な事業）
<p>【地方における安定した雇用を創出する】</p>	<p>【雇用の場の拡充】</p> <p>本町の強みを活かした産業を振興し、雇用の場を拡充する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者（新規就農者）確保対策事業★ ・農業労働力の確保対策事業 ・I C工業団地への企業誘致 ・I C工業団地の拡張整備★ ・産業振興支援事業
<p>【地方への新しい人の流れをつくる】</p>	<p>【移住・定住の促進、交流の拡大】</p> <p>音更の魅力で人を呼び込む、呼び戻す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次交通対策支援事業★ ・訪日外国人観光客誘客強化事業★ ・魅力発信拠点整備事業（道の駅） ・スマートインターチェンジ整備促進の要請 ・テレワークや起業、移住を促す情報通信環境の整備 ・市街地の空き地、空き家等の活用 ・介護福祉士育成支援事業 ・元気な高齢者の移住促進 ・移住、定住促進事業（北海道移住促進協議会などと連携した情報発信、移住相談等）
<p>【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】</p>	<p>【結婚・子育て支援の充実】</p> <p>若者が結婚し、安心して次の世代の子どもを産み育てたいという希望をかなえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者交流支援事業★ ・地域イベント等を通じた若い世代の交流促進 ・子育て世帯向け賃貸住宅家賃補助事業★ ・少人数学級やティーム・ティーチングの推進 ・すくすくステーション整備事業★ ・保育料軽減事業★ ・放課後子ども教室の推進 ・男女共同参画推進事業
<p>【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】</p>	<p>【安全・安心な地域づくり】</p> <p>音更に住み続けたい、住んでみたいと思える環境を整備する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通確保対策事業 ・認知症高齢者支援事業（SOSネットワークなど） ・保健・医療・福祉・介護の連携体制の充実 ・潤いと思いやりの地域づくり事業 ・食育推進事業 ・防災備蓄品等整備事業、自主防災組織、要援護者への支援 ・潤いと思いやりの地域づくり事業（地域防災組織活動） ・国道241号交通事故対策整備促進の要請
	<p>【広域連携の推進】</p> <p>十勝圏域としての魅力を高め、広域連携を推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝定住自立圏の推進 ・各種広域行政事業の推進

★：交付金対象事業